

第4問 抱える問題と解決に向けて

瀬戸内海の自然は様々な、かつ困難な問題を抱えています。瀬戸内海の抱える問題から一つ選び、どのような問題かを説明してみましょう。

①抱える問題を一つ選んで○をつけよう。

- ・ 自然海岸の減少
- ・ 水質保全と生産性のバランス(富栄養と貧栄養)
- ・ 内湾の貧酸素
- ・ 外来生物

②選んだ問題について、どのような問題か説明してみましょう。

...
...
...

おまけ



「瀬戸内海の自然を楽しむ」展を見て、おもしろい、興味深いと思ったことを書いてみましょう。

どこがどんな風におもしろかった、興味深かったのか、またそのように感じた理由も書きましょう。



第48回特別展

瀬戸内海の 自然を楽しむ 生き物のにぎわいとその恵み

Commune with nature in Setonaikai

入場料

中学生は無料です。
高校生・大学生は300円ですが、
このワークシートの提示で200円になります。

期間 平成29年7月15日(土)～10月15日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週月曜日(ただし月曜日が休日の場合はその翌日)

*8月14日は開館

観覧料 高校生・大学生300円/中学生以下 無料

*障がい者手帳などをお持ちの方(要証明)は無料。

*博物館本館・長居植物園への入場は、別途料金が必要です(セット券を除く)

大阪市立自然史博物館

Osaka Museum of Natural History

会場 ネイチャーホール(長居公園 花と緑と自然の情報センター2F)

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 tel.06-6697-6221

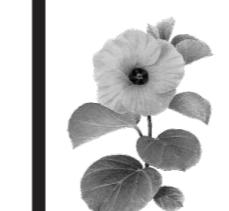
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

アクセス 地下鉄御堂筋線「長居」3号出口→東へ約800m

JR阪和線「長居」→東へ約1km



会場MAP

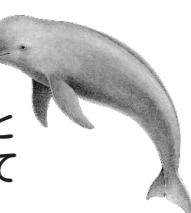


第1問 瀬戸内海の自然

第3問 瀬戸内海の漁業



第4問 抱える問題と 解決に向けて



ワークショップ
スペース

ハンズオン
コーナー

瀬戸内海を
調べよう

↑ 入口 ↓ 出口

第1問 濑戸内海の自然

『瀬戸内海の自然』のコーナーを見て、以下の文章の①～⑦に入る言葉を書いてください。

■瀬戸内海は島がほとんどない(①)と、島が多い海域の繰り返しからなります。また、島と島、島と本土の間の海峡部を(②)とよぶことがあります。(②)は潮流が侵食することにより水深が100mを超えることがあります。それに対し、(①)は概ね水深20m以下の平坦な地形です。

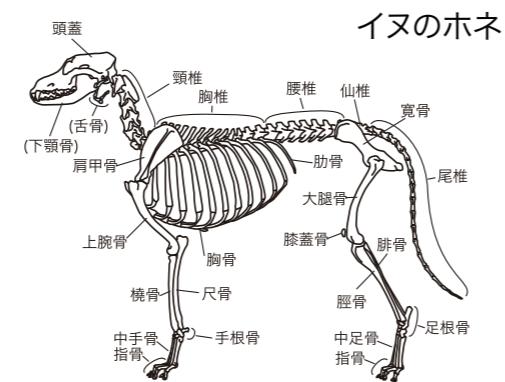
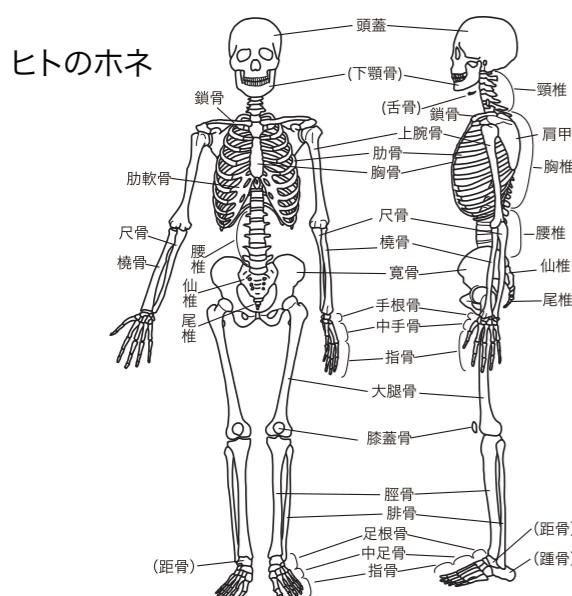
■瀬戸内海の周りには様々な岩石が分布しますが、瀬戸内海を代表する岩石といえば(③)です。分布が広いだけでなく、古くから石材としても多く利用されています。大阪城の石垣にも瀬戸内海の島々から採石された(③)が使われています。また、香川県を中心に分布する瀬戸内火山岩類も重要です。石器の材料として知られる(④)がその代表です。

■海浜植物は砂浜や砂丘特有の厳しい環境にたえてきた植物で、(⑤)を厚くして水分の過剰な蒸散を防ぐ、地中に長い茎や根を伸ばして(⑥)や(⑦)に耐えるといった特殊な生態を持っています。

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦		

第2問 ザトウクジラのホネをみて考えてみよう

クジラは魚ではなく、私たちと同じ哺乳類の仲間です。ヒトやイヌのホネの図と、展示されているザトウクジラのホネとをくらべてみて、似ているところと違うところをみつけてみよう。



・ヒトやイヌのホネと似ているところは？

・ヒトやイヌのホネと違うところは？

第3問 濑戸内海の漁業

瀬戸内海の漁師さんは、生き物の特性を巧みに利用して、さまざま いしげたあみ 漁を行っています。会場内の漁具の模型、生物標本、写真、動画、解説文などを見て、「底びき網漁(石桁網漁)」と「定置網漁(つぼ網漁)」に関する以下の表を埋めてください。

	漁具の図解 漁具をスケッチし、生き物をとるしくみを説明してみよう	とれる生き物の特徴 どのような特性を持った生き物を対象にしているのか書いてみよう	とれる生き物の種類 会場内で印象に残った生き物を5種ほど挙げてみよう
底びき網漁 (石桁網漁)			
定置網漁 (つぼ網漁)			